

藤原秀郷ゆかりの地

近江三上山の「むかで退治」の伝説をはじめ、各地に伝説や物語を残す藤原秀郷。天慶3年(940年)平貞盛とともに平将門を討伐したことで、下野守・武蔵守に任じられました。佐野氏の祖とされる秀郷公ゆかりの地を巡ってみませんか？

1 唐澤山神社



佐野市富士町 1409 ☎0283-24-1138 MAP E-6

「むかで退治」の伝説でも名が知られる藤原秀郷(田原藤太秀郷)の子孫の佐野氏が築城した山城です。戦国時代末期の堅牢な高石垣が残る東日本では数少ない城跡です。秀郷公が祀った唐澤神社がある本丸跡や南城跡の石垣の一部は当時の姿を残しています。土櫓や物見櫓、帯廊、四つ目堀等、要塞としての唐沢山城をうかがい知ることができます。

2 露垂根神社



佐野市富士町 1007 MAP E-6

藤原秀郷が天慶5年(942年)に安芸国厳島大明神を、唐沢山の天徳丸に勧請しました。本殿の壁には、「竹林の七賢」の彫刻があります。唐沢山築城の際、厳島大明神に祈願したところ、その霊夢により掘ると水が湧き出たという伝説もあります。(大炊井戸)

3 佐野城跡



佐野市若松町 504 MAP E-7

別名春日岡城ともいわれ、延暦元年(782年)藤原藤成がここに館を設け、春日明神を祀ったと伝えられています。慶長7年(1602年)唐沢城主佐野信吉は幕府の山城禁止の命によりここに移ったといわれています。遺跡は連郭式の平山城で、現在では空堀の内堀と水堀の外堀の一部が残っています。

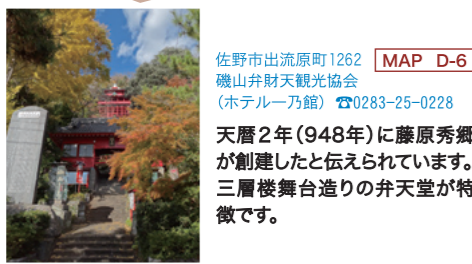
4 一瓶塚稲荷神社



佐野市田沼町 1404 ☎0283-62-0306 MAP E-6

「銅製鳥居」国認定重要美術品 「本殿」県指定文化財
一瓶塚稲荷神社の前身は、藤原秀郷が天慶5年(942年)に創立した五社稲荷の一つで、当初は、唐沢山城南の富士村にあったとされています。文治2年(1186年)に、佐野成俊が唐沢山城を再興した際に、城の後口に固めに塚を築き、社殿が創建されました。

5 磯山弁財天



佐野市出流原町 1262 MAP D-6
磯山弁財天観光協会
(ホテルー乃館) ☎0283-25-0228

天暦2年(948年)に藤原秀郷が創建したと伝えられています。三層楼舞台造りの弁天堂が特徴です。

藤原秀郷公墳墓 市指定史跡 佐野市新吉水町 254

秀郷公は、正暦2年(991年)に没し、東明寺に葬られたといわれていますが、廃寺となり宝永2年(1705年)地元有志により田原八幡が建てられました。



Nature - 四季折々の唐沢山 -

つつじ

唐沢山城跡周辺は、ツツジの名所としても知られています。例年4月下旬～5月上旬には、ツツジの群落が見られます。



view point



紅葉

唐沢山の紅葉は、例年11月中旬から下旬頃に見頃を迎えます。

天気の良い日には筑波山・富士山 東京スカイツリーも見えるよ♪



● 武芸の祖・藤原秀郷

平安時代、平将門の乱の平定に功績をあげたことで知られていますが、その一方で、「俵藤太」の通称で「むかで退治」の伝説をはじめとして、多くの物語や絵巻物に取り上げられ、親しまれている人物です。

● 戦国武将・佐野氏 ～乱世を生き抜く～

藤原秀郷の子孫とされる藤姓足利氏から出た佐野氏は、平安時代の末頃から鎌倉・室町期を通じて下野国佐野庄で勢力を保ちました。戦国時代には唐沢山城を拠点に現在の佐野市域一帯を治めました。

佐野昌綱 ～負け知らずの戦上手～

上野や奥州、武蔵との交通の要衝地にあった唐沢山城は、越後の上杉謙信や小田原の北条氏といった大々名からの攻撃にさらされました。1560～70年代、当主・佐野昌綱は、上杉や北条からの侵略を巧みにかわし激動の時代に佐野氏を守り抜きました。

天徳寺宝行 ～織田、豊臣との関わり、卓越した外交力～

1590年、北条家滅亡により家督存続が危ぶまれます。しかし、昌綱の弟とされる宝行が秀吉の側近として仕えていたことから家督は存続。宝行は、佐野の地を離れ織田家と関わりをつくり活躍をしました。織田信長が豊臣秀吉に与え、宝行が秀吉に賜ったとされる「龍騎の兜」が今に残っています。



藤原秀郷ゆかりの地